

意見書

仄ニ聞ク政府ハ第十三議會ニ於テ歳入ノ一部ヲ補フカ為メ市街宅地租増徴案ヲ提出セラル、ノ内議アリト

方今内外多費ノ際諸税額ノ増加ハ止ムヲ得スト雖モ租税ハ総テ均一ヲ要スルコト古今経國ノ原則ナルヲ以テ此際市町村ヲ通シテ相當ノ増税ヲ課セラル、ハ敢テ不當ニアラサルモ獨リ市街地ノミノ負担ヲ重カラシムルハ課税ノ原理ニ背キ将来國運ノ進歩上影響スル所大ナルヲ知ル然ルヲ況ンヤ本市ノ如キ内外貿易ノ衝ニ當ル地ニシテ一朝地租ノ偏徴セラル、ニ於テハ地價ハ必ス暴落シ隨テ金融界ニ恐慌ヲ

横濱市會

來タシ一般ノ高工業ハ忽チ衰頽、隔リ加之改正條約ノ実施モ目睫ノ間ニ迫リ其設備モ少ナカラサルノ時ニ當リ前記傳フル如キ徵租ノ激變ヲ被ルアラハ諸業ノ頓挫ハ必ス免レサルニ於テラヤ是レ本市民カ市街宅地租ノ増徴ヲ不可トスル所以ナリ

右市制第三十三條ニ據リ茲ニ意見開陳仕ま也
明治三十一年十月

横濱市會議長渡邊福三郎

内務大臣伯爵板垣退助殿

浩志純

横濱市
護長渡邊福三郎



MS